

## ソニーネットワークコミュニケーションズコネクト(株)と東急建設(株) 集合住宅における自住戸内居室間の高遮音化技術実建物での実証実験を開始

-新たな住まいのカタチを目指し、本格的な性能検証へ-

ソニーネットワークコミュニケーションズコネクト株式会社（本社：東京都品川区、社長：篠原浩昭）と東急建設株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：寺田光宏、以下「東急建設」）は、より快適な住環境の実現を目指し、東急建設保有物件の住戸において、両社が共同で研究する高遮音化技術を導入したテストルームを設置し、実証実験を開始することをお知らせいたします。

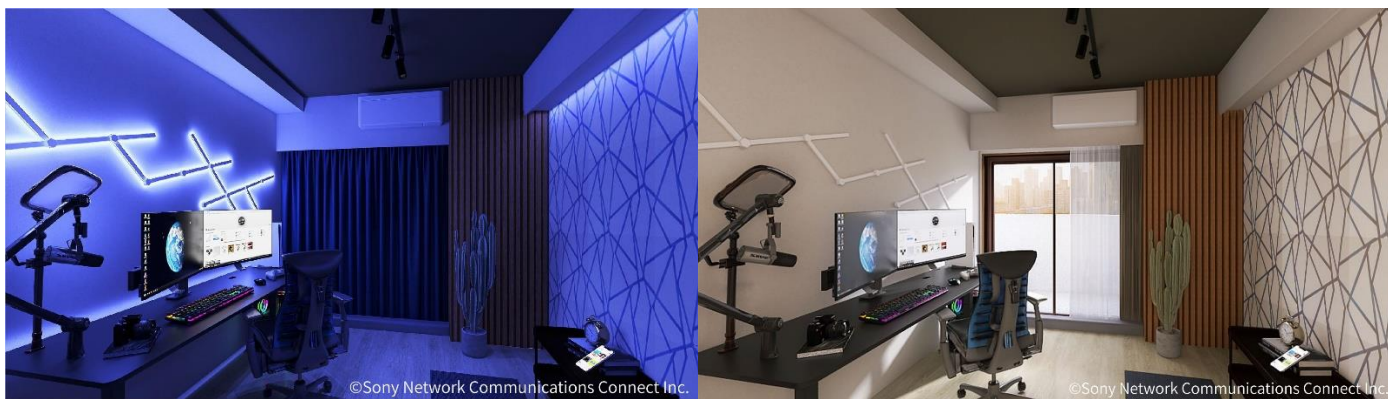


図 実証実験を実施する環境のイメージパース  
(デザイン／爲井 澄子 パース作成／香西 一美)

### 背景

近年、自宅での多人数参加型オンラインゲームやテレワーク等の浸透により、自住戸内で発生する生活音を取り巻く環境が急速に変化しています。

しかしながら、集合住宅における自住戸内の居室間の遮音性能は、明確な基準が設けられておらず、実態を十分に配慮した設計手法は未だ確立されていません。そのため、生活習慣や利用シーンの異なる居住者同士が、互いの快適性を確保しながら過ごせる空間づくりが課題となっています。

### 共同研究の経緯

前述の課題を解決し、快適な空間を提供するために両社は、2024 年に共同研究契約を締結し、自住戸内の居室間における高遮音化技術の研究・開発と、この技術を活用した新しい解決策の検討を続けてまいりました。

この成果として、東急建設技術研究所の施設を活用し、集合住宅の居室を模擬したモックアップ環境において一定の遮音性能等が確認できました。

### 共同研究における高遮音化技術の特徴

本技術は「人の声」と「自住戸内」に特化し、従来の防音室と比較して、以下の特徴を実現します。

- ・建設コストの削減
- ・室内空間をほとんど狭めず、広く有効に活用できる設計

- ・出入口に防音室特有の段差がなく、一般的な居室と変わらない使用感覚

## 実証実験の概要

本実証実験では実建物環境に設置したテストルーム（3.実施場所を参照）を活用し、以下の検証を行います。

### 1.実施内容

#### ①居室間の遮音性能検証

- ・モックアップ環境との整合性
- ・実用上の音響的課題抽出および改善手法の検討（遮音欠損部の処理方法等）

#### ②遮音性能を活用した「新しい住まいのカたち」の機能性や快適度合いの評価と検証

- ・実際の集合住宅におけるオンラインゲームや配信、テレワーク利用の主観評価
- ・住居の快適度をより高める遮音性や新たな付加価値技術の検証

#### ③施工性およびコスト検証

- ・施工手順や工期（歩掛り）の評価
- ・施工コスト検証（本技術以外の工事も含む）

### 2.実施期間：2026年2月1日より開始

### 3.実施場所：東急建設 保有物件（東京都大田区、千葉県柏市）

## 今後の展望

両社は、本実証実験を通じ、研究段階から一歩進んだ「実環境での有効性」を検証し、その成果を踏まえて、現在施工中の新築マンションへの導入を予定しています。

これにより、オンラインゲームやテレワーク等に対応した快適に暮らせる静穏な住環境を実現し、社会実装に必要な提案をまとめ、信頼性と実用性、経済性の確立を目指します。

## 参考

「集合住宅における自住户内居室の高遮音化技術の共同研究を開始」(2024年12月9日)

[https://sonyncc.co.jp/wp-content/uploads/2024/12/sncc\\_release\\_20241209.pdf](https://sonyncc.co.jp/wp-content/uploads/2024/12/sncc_release_20241209.pdf)

## 本件に関する問合せ先

ソニーネットワークコミュニケーションズコネクスト株式会社

経営企画本部 事業開発部 佐伯

E-mail：[SNCC\\_PR@sony.com](mailto:SNCC_PR@sony.com)

以上